

学問のすすめ

がくりよく いったいなん 学力とは一体何だろう？

前号でお知らせしたとおり、この学力向上通信「学問のすすめ」は子供たちの学力向上を目指して作成しています。では「学力」とは一体何でしょうか。本号では、その「学力」について触れていきたいと思えます。

「学力」と聞くと、思い浮かべるのは「埼玉県学力・学習状況調査」や「羽生市学力アップテスト」などの得点ではないでしょうか。学校教育法第三十条第二項では「学力」を以下のように定義しています(2007年学校教育法改正)。

前項の場合においては、生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない。

つまり、「学力」とは以下ようになります。

- ① 基礎的・基本的な知識・技能
- ② 「知識・技能」を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等。
- ③ 主体的に学習に取り組む態度



「学力」というと「知識」に注目が行きがちですが、自分で考え、判断し、表現する力や今、自分から学習しようとする態度なども「学力」です。いま、自宅で家庭学習に励んでいると思いますが、自分から学習に取り組み、考え、表現することが大切です。与えられたことだけでなく、不思議に思ったことなどを調べるなどもこの機会にしてみましょう。

ことし なに かわる 今年から何が変わるの？

新学習指導要領の全面実施により、今年から学校は色々なことが変わりますので、そのことを紹介します。まずは、学習評価の観点が変わります。※4観点が3観点へ

- ① 関心・意欲・態度
- ② 思考・判断
- ③ 技能・表現
- ④ 知識・理解



- ① 知識・技能
- ② 思考・判断・表現
- ③ 主体的に学習に取り組む態度

次に、外国語教育が変わります。中学年に外国語活動、高学年に外国語科が導入されます。



- 5・6年生
外国語活動 話す・聞くが中心



- 3・4年生
外国語活動 話す・聞くが中心
- 5・6年生
外国語科 読む・書くも取り扱う



他にもプログラミング教育が必修(主に高学年の算数や理科等で扱います)になったり、4年生では都道府県名の漢字が必修になります。

詳しくは文部科学省のHP (https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1384661.htm) に掲載しています。